

【様式1】

令和5年度 授業改善推進プラン

東久留米市立第六小学校 第6学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none">・ 目的に応じて文章の要旨を的確に捉える力に個人差がある。また、読み取る力が不十分で文章を読み深めることを楽しむことに課題が見られる。・ 目的や意図を明確にして内容を整理し、考えを述べることに課題が見られる。	<ul style="list-style-type: none">・ 叙述を根拠にすることを指導する。登場人物の心情を行動や会話等から読み取ったり、文章全体の構成を捉えて把握できるようにする。・ 物語文や説明文の授業では、意見交流の時間を毎時間設け、自分の考えをまとめたり広げたりする。 → 单元ごとにワークシートやノートに考えをまとめた学習感想を書かせる。 (目標値：初発の感想との違いに気付ける児童80%以上)・ 短作文で、順序立てて整理した文章を書き、推敲する経験を積み重ねさせる。・ 作文を書く時間を十分に確保し、書き表し方を工夫できるようにする。 → 整理して自分の考えや想いを文章にできる。(目標値：ワークシートやノートに文章を書ける児童80%以上)
算数	<ul style="list-style-type: none">・ 数量関係や量と測定の領域、割合や単位量当たりの大きさに関する問題について、苦手意識が見られる。・ 問題場面を理解して立式する力に課題がある。	<ul style="list-style-type: none">・ 朝学習で東京ベーシック・ドリルから、児童の実態に合った効果的な問題を選んで繰り返し復習する。・ 具体物、半具体物を操作する活動や視覚的に捉えることができる教材などを多く取り入れて数量感覚を養う。図に表して考える機会を多くつくる。 → ワークテストやEライブラリ確認テストから見取る。 (目標値：正答率75%以上)・ 問題場面を数直線や表などに整理して、正しく立式する活動を計画的に取り入れる。 → 单元で2回以上、作図や数直線、立式等の考えが表現できるか確認する。(目標値：80%以上の児童)

理科	<ul style="list-style-type: none"> 人の体のしくみ、電流や回路など、基礎的な知識の理解の定着が十分ではない。 根拠をもった予想・仮説を立てて実験・観察方法を考えることや、結果からより妥当な考えを導き出すこと、また、それらを適切に表現することに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入やまとめで、図やイラストをタブレット端末を使ってまとめる活動を意図的に取り入れ、理解度を把握して指導する。 →タブレットにまとめた内容やワークテストから理解の定着を見取る。(目標値：90%以上の児童) 既習事項を根拠に予想を立て、実験結果を表やグラフに整理して考察し、考えを交流するなかで学習を深める。 →学習ノートや実験グループでの話合いの内容から見取る。(目標値：予想や考察を適切に表現できる児童が、3学期までに80%以上)
特別の 道徳 教科	<ul style="list-style-type: none"> 自分事として考えることに課題の見られる児童がいる。感想を書かせても、なかなか筆が進まない時がある。 自分の意見をもちつつも、友達の意見に流されてしまい、自分の意見は間違っているのではないかと思ってしまう場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> より自分事として捉えられるよう、導入に児童アンケートを取り入れたり、まとめで体験談を交流する時間を設ける。 →ワークシートから見取る。(目標値：自分の考えを書ける児童95%以上) 自分の意見をワークシートに書いたら消さずに、友達の意見を追記するよう指導する。 思ったことを素直に書くように促す。 それぞれの意見が違うことで考えが広がり、深まることを指導する。 →ワークシートに記入している内容から自分の考えと友達の考えを比較したり、取り入れたりして考えているかを見取る。